令和７年度（２０２５年度）
社会福祉法人いなほ福祉会　通園くじら　事業報告

１．利用登録者数と利用実績（令和８年３月末）

【利用登録者数】　22 名

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	19	21	22	24	18	22	24	21	23	21	20	22	257 日
延利用人数	257	288	315	330	252	300	334	296	339	324	317	349	3,701 人
1 日平均	13.5	13.7	14.3	13.7	14.0	13.6	13.9	14.0	14..7	15.4	15.8	15.8	14.4 人

令和 6 年度　延利用人数　4, 378 人　1 日平均 17. 2 人

【送迎利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	340	350	402	408	319	397	443	362	428	377	352	379	4,557 人

令和 6 年度　延利用人数　4, 574 人

【保育所等訪問支援　利用登録者数】　4 名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	0	1	2	3	3	4	3	2	4	4	2	4	32 人

令和 6 年度　延利用人数 16 人

【計画相談　利用登録者数】　49 名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
継続支援	0	2	3	10	1	36	2	10	2	2	2	6	76 人
計画作成	43	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	49 人

令和 6 年度　延利用人数 136 名　継続支援　79 人　計画作成　57 人

２．職員体制

職　種	定数	現員
管理者	１名	１名（兼務）
児童発達支援管理責任者	１名	１名
相談支援専門員	１名	１名（兼務）
訪問支援員	１名	３名（兼務）
保育士または 児童指導員	５名	５名 ４名
指導員		３名
看護師・准看護師		３名
栄養士	１名	１名

給食調理員	１名	２名
送迎運転手		４名
機能訓練担当職員（言語聴覚士）		２名（１名兼務）
発達相談員（臨床心理士）		２名（兼務）
嘱託医（嘱託職員）	（１名）	（２名）
合　計	１１名	３２名（２名）

３．　今年度の重点方針

① 乳幼児期の障害児支援を担う要としての機能充実を図ります。

専門職員として、言語聴覚士、臨床心理士を配置しています。特に本年度では、摂食障害児に対する咀嚼嚥下機能、構音障害に対する専門的アプローチを毎日通園の利用児のみならず、アドバイザー事業を通して、地域の園に通う子どもに対して行う事ができました。また、保育所等訪問支援事業を充実させ、発達につまずきのある幼児が、保育園等の中で内面を充実させながら発達し、自己肯定感を持って生活できる事を大切にする支援を行う事で、障害に対する理解を広げる足掛かりを構築することができました。また、法人全体で公認心理師によるスーパーバイズも兼ねた発達相談を行い、特性の顕著な幼児に対して､本人や保護者に寄り添った見立てや関わり方等のアドバイスお伝えすることができました。その見立てを通して教育や母子保健等とさらにつながることができ、困り感のある児童に対しての支援の輪が広がり、障害児支援の要となる児童発達支援センターとして、地域での位置づけを図ることができました。

② 毎日の療育を充実させ、生きる意欲を育みます。

子ども自身が「したいこと」「楽しめる事」を常に念頭に置き、その意欲を育てる事を職員集団で話し合いながら保育を行っています。今年度は、春の遠足、お泊り保育、運動会、生活発表会などの行事に重点を置きながら、より子どもが主体的に、意欲を持って楽しめる活動を重ねてまいりました。『できる』ことにこだわらず、気持ちが膨らむ活動を重ねる事で、自然に生活の力、コミュニケーションの力、身体や手先の運動機能が向上し、目を輝かせながら自分に自信を持って外界に向かう姿につなげる事ができました。

③ 地域の障害児支援の啓発のための学習会を開催します

子どもの発達を保障するためには､だれもが通る発達のみちすじについての理解が不可欠と考えます。診断名がつくことで特性重視となり、行動のみに着目されがちですが、幼児期においては、発達の凸凹と捉え､当たり前の生活をとおしながらも少し丁寧に誠実に子どもに関わる事で､凸凹が緩和されたり、内面が充実して自らの発達の願いを持つようになることを子どもたちの姿を通して実感しています。事業所職員は専門家として発達のみちすじについて深い知識を持つことが大切ですが、子どもが社会で充実させて暮らすためには、母子保健や福祉などの行政職員、教育関係者、保育士等、他職種との共通理解が大切と捉えています。長年当法人の活動を支えてくださっている社会福祉法人桃郷さまのご協力のもと、経験豊かな発達相談員をお迎えし、発達の連続講座を２回開催しました。合計２２０名以上の参加となり、圏域内の多くの関係者に発達のみちすじについて啓発することが出来ました。また、講座開催にあたり各関係機関を訪問することで、直接顔を合わせる交流ができ、さらに連携ができる関係を構築する事ができました。

４．　保護者学習会の実績報告

日　程	内　容	講　師
５月２７日	保育の意味	通園くじら　保育士　　敷地　美圭
８月１９日	発達について１	通園くじら　発達相談員（臨床心理士） 海野　実加
９月３０日	先輩保護者のはなし	卒園児先輩保護者７名　お泊り保育報告会
１１月１８日	発達について２	通園くじら　発達相談員（臨床心理士） 海野　実加
１２月１６日	いなほ福祉会 事業所見学ツアー	法人各事業所の管理者および担当者により対応
１月２７日	『障害特性について』 『福祉制度について』	通園くじら発達相談員（臨床心理士）海野　実加 通園くじら　管理者　　保田　央

５．緊急時の対応

４月９日　　旧食事、アレルギーと診断されている子どもに対し、アレルゲンである食物を何口か摂取させることがありました。すぐにかかりつけ主治医に指示を仰ぎ、様子観察を行いました。大事には至りませんでしたが、今後このような事がないよう、職朝での全職員への周知、調理員との毎日の口頭確認、仕切られた部屋での別の机、色分けされたトレーの使用等、アレルギー対策を講じました。

６．事故発生時の対応

ケガ　　４月 24 日　公園から車に乗って帰園する際、乗用車の後部座席にて、男児が持っていた 30ｃｍほどの棒が隣の男児の目にあたり、病院を受診しました。眼球に異常は確認されませんでした。

状況：保育士は、男児が棒を持っている事に気が付かず、そのまま乗せてしまった。

対応：長い棒を持っている事を確認できなかったという状況に危機意識と全体像の把握の甘さがあると判断しました。法人の児童分野全体で対応を協議し、保育士の業務負担の軽減をはかる共に、ベテラン職員による安全性の確保のため、通園めだかより職員の異動を行い、保育体制の補充を行いました。グループ内のベテラン保育士の余裕のある配置を行いました。

今後、施設内における安全計画の見直しを行い、このような事故が発生する事のないよう徹底します。

７．虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成　　０名

【虐待案件】　　０件

【身体拘束発生案件】　０件

８．苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

９．職員（援助者）の援助技術の向上

（１）職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	１６回開催
・グループ会議	→	１７回開催

・個別支援計画策定会議　→　１７回開催 ・モニタリング会議　→　２０回開催 ・給食会議　→　１１回開催

（2）職員研修の実績報告

【内部研修】

日　程	主　催	研修内容	講　師	参加人数
４月１２日	通園くじら	発達について １．発達を学ぶ意義 ２．幼児期の発達のみちすじ ３．豊かな発達のために	通園くじら　発達相談員 (臨床心理士)　海野　実加	１４名
５月１３日	通園くじら	睡眠について 録画視聴	くまのこころのクリニック 睡眠健康指導士 西山直子 氏	７名
５月３０日	通園くじら	個人情報の取り扱い	通園くじら　保田　央	２６名
５月３１日	法人研修	虐待防止・人権擁護　研修	通園くじら　植村　弘子 いなほ作業所　長尾　淳司	２４名
６月２５日	通園くじら	救命救急講習	那智勝浦町消防本部 那智勝浦町消防団	１０名
７月２６日	通園くじら	『乳幼児期後半から幼児期への発達～１歳半ばごろの時期を中心に～』	社会福祉法人桃郷 山本　翔太 氏	１４名
８月３０日	通園めだか	『通園めだかについて知ろう』	通園めだか　寺地　・　福田	５名
１０月８日	通園くじら	安全管理・感染対策委員会 「ノロウィルス感染予防」 「嘔吐物処理について」	通園くじら　植村　弘子	７名
１１月２２日	通園くじら	『２歳・３歳頃の発達について ～自我をふくませていく頃～	社会福祉法人桃郷 山本　翔太 氏	１４名
１月３日	通園くじら	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程テキスト 〈 管理職偏 〉	テキスト	１名
１月５日	通園くじら	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程テキスト 〈 チームリーダー偏 〉	テキスト	１名
１月１３日	通園くじら	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程テキスト 〈 中堅職員偏 〉	テキスト	１名
１月１５日	いなほ福祉会	災害時の医療について	相野谷診療所医師 森本　真之助 医師	５名
１月３１日	いなほ福祉会	障碍者福祉制度研修 災害対策委員会研修	相談支援事業所ヴィータ 前　邦朋 氏	４名
２月７日	いなほ福祉会	【生きにくさと周囲の理解と支援】　～発達に凹凸のある子ど	児童発達支援センター「エンジョイヴィレッジ」	

		も、そしてその大人～	センター長　志村　浩二 氏 (臨床心理士・公認心理師)	４名
２月２０日	和歌山県障害児保育運動連絡会	和歌山県障害児保育運動連絡会事務局会議	担当講師	１名
３月３日	通園くじら	発達・愛着について	通園くじら　発達相談員 (臨床心理士)　海野　実加	１２名

【外部研修】

日　程	主　催	研修内容	講師等	参加人数
４月１９日	橋本･伊都地域自立支援協議会こども部会	～支援を必要とするこどもへの関わり方を学ぶ～	ＮＰＯ法人福祉広場 理事長　池添　素 氏	１名
５月１０日	桃郷法人事務局	和歌山県発達相談員ネットワーク事例検討会	担当講師	１名
５月２５日	田部　綾子氏 (日本大学文理学部教育学科)	現在の子どもの 食の発達困難と個別的支援 に関するスキルアップ講座	日本大学文理学部教育学科 准教授・博士（教育学） 田部　綾子 氏	１名
６月１日	田部　綾子氏 (日本大学文理学部教育学科)	現在の子どもの 食の発達困難と個別的支援 に関するスキルアップ講座	日本大学文理学部教育学科 准教授・博士（教育学） 田部　綾子 氏 ひまわり歯科・管理栄養士 藤井　葉子 氏	１名
６月７日	和歌山県障害児保育運動連絡会	～自閉スペクトラム症児者の心の理解～	岐阜大学教育学部教授 別府　哲 氏	６名
６月８日	ＮＰＯ法人発達保障研究センター／全国障害者問題研究会	１．乳児期後半の発達と発達診断 ２．１歳半ごろの発達と発達診断 ３．２～３歳ごろの発達と発達診断	１．共立女子大学 河原　紀子 氏 ２．滋賀大学 松島　明日香 氏 ３．鳥取大学 寺川　志奈子 氏	２名
６月２２日	田部 綾子氏 (日本大学文理学部教育学科)	１.「やせ願望」なくても発症する子どもの摂食障害「回避・制限性植物摂取症」の理解と支援 ２．食物アレルギーの子どものニーズと地域中核病院における子どもを預かる施設との直接連携	獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター医師 作田 亮一氏 公立昭和病院小児科医師 大場　邦弘 氏	１名
７月６日	田部 綾子氏	１．医療少年院やダウン症のこど	１．株式会社ルーアイラン	

	（日本大学文理学部教育学科）	もたちが教えてくれた自立・自律につながる食育の大切さ ２．子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる～子どもの声から探る「食・睡眠・こころ・からだ」と発達支援の課題～	ド代表取締役子どもの食育スポット「ゆめつぼ」運営・管理栄養士 大坪　さやか 氏 ２．東海学院大学人間関係学部子ども発達学科教授・東京学芸大学名誉教授　　髙橋　智 氏	１名
８月４日	和歌山県立みくまの支援学校支援部	「インクルーシブ教育について」～全てのこどもにわかりやすい教育を届けるための工夫～	望月　信吾 氏 有本　松子 氏	２名
８月９日 １０日	全国障害者問題研究会	第５９回全国大会広島２０２５	担当講師	１名
８月２１日	新宮保健所 保健課	給食施設研修会	新宮保健所衛生環境課 食品衛生監視員	３名
８月２３日	那智勝浦町 こども未来課	保育研修会 「発達に応じた環境としての おもちゃの役割を考える」	関西国際大学教育学部 准教授　下里　里枝 氏	１名
８月３０日	人間発達研究所	発達保障学校　発達診断方法論 基礎編	担当講師	１名
９月２８日	和歌山県障害福祉課	児発管基礎研修（オンライン）	担当講師	１名
１２月１３日	和歌山県障害児保育運動連絡会	和歌山県障害児保育運動連絡会 令和７度　職員研修	グループワーク	４名
１２月１５日	和歌山県福祉保健部福祉保健政策局　障害福祉課・和歌山県福祉事業団	相談支援従事者専門コース別研修（意思決定支援）	担当講師	１名
１月１２日	全国障害者問題研究会	教育と保育のための発達診断セミナー １．乳幼児期の発達と療育 ２．遊びと発達　～ライフステージを一貫する遊びの発達的意義～ ３．学童期の発達と実践	１．社会福祉法人コスモス 髙橋　真保子 氏 ２．京都府立大学 服部　敬子 氏 ３．神戸大学 川地　亜弥子 氏	１名
１月１７日	那智勝浦町役場総務課防災対策室・自主防災組織・地域住民	避難所開設訓練	那智勝浦町職員	１名
３月１７日	和歌山県障害福祉課	和歌山県自立支援協議会こども部会　時期障害児福祉計画を見据え	子ども家庭庁　支援局障害児支援課　課長補佐/統括	１名

		た障害児支援のあり方について	専門官　鈴木　久也 氏	

１０．年間行事

日　程	内　容
４月　３日（木）	新年度保育開始
４月　４日（金）	入園式
４月２２日（火）	保護者会
５月１３日（火）	春の親子遠足
５月	家庭訪問
８月１日・２日	５歳児お泊り保育
８月１２～１５日	夏休み
８月２３日（土）	くじらまつり
１１月１日（土）	運動会
１１月８日（土）	家族参観
１１月１１日（火）	給食参観（ほしグループ）
１２月２日（火）	給食参観（にじグループ）
１２月２３日（火）	親子クリスマス会
１２月３０日～１月４日	冬休み
１月６日（火）	もちつき
２月１４日（土）	生活発表会
３月３日（火）	お別れ遠足
３月２７日（金）	卒園式
３月３０日（月）	修了式
３月３１日～４月１日	春休み